

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

慢性硬膜下血腫に対する診断、治療、再発予防およびその効果について

●研究の対象

2011年12月1日から2024年12月31日に京都第二赤十字病院脳神経外科において、慢性硬膜下血腫に対して治療を受けられた患者さんを対象とします。

●研究の目的

慢性硬膜下血腫に関して、術後再発予防に五苓散や柴苓湯が有効であるとの報告は多く見られるようになっていますが、頭部外傷後で慢性硬膜下血腫が症候化していない段階での症候化の予防についての薬物の効果、てんかんなどで発症する慢性硬膜下血腫の特徴、高齢化の進展に伴う頻出症状の推移等については知られていません。これらについて、当院で治療を行った慢性硬膜下血腫の患者さんのデータを基にして現状を解明しようとしています。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2027年12月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：頭部打撲があった場合は頭部打撲から発症までの期間、治療法、初発症状、年齢と初発症状の 相関

なお、利用する上記の試料・情報からは患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 脳神経外科 武内 勇人

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：脳神経外科 武内 勇人

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）